

メディコスこれから

#02



地元根を張る 若者文化とのつなぎ役に

先日、イベントで岐阜市在住で全国で活躍するラッパー梨園さんと対談する機会をいただきました。正直なところ、私はそれまでラップを聴いたことがありませんでしたが、今回のトークをきっかけに聴き始め、ラッパーは「即興的な詩人である」という印象を持ちました。言葉にこだわるといふ部分において私の仕事とも共通する部分があると感じました。久しぶりに若者たちの文化に触れ、「アンダーグラウンドな文化と社会をつなぐ」という、これからメディコスが担うべき役割が立体的に浮き上がってきました。

ラップやパブリックアート、不登校の子どもたちや保護者など、社会的には少数派といわれることの多い人々の表現の場としてメディコスがあることで、彼らがまことつながりやすくなればと思います。そして、特にフォーカスしていきたいのは「岐阜のまちにこれからも住み続けよう」としている人です。地元で「所懸命もがいている人たち」と、ともに手を組んでいくのりしるをどれだけつづけていけるか。若者たちの中から生まれてくるアンダーグラウンドな文化を含め、多様性をどれほど許容していけるか。メディコスで様々な人や文化が出会い、ぶつかり、混じり合い、広がっていくのが楽しみです。

VOL. 02

文化道
メディコス

季刊



【特集】
O1 岐阜のまちを編集するエディターを講座で育成
O2 岐阜の地で楽しく豊かに暮らすヒントが詰まったライブラリー

【岐阜の文化地図】
本と映画

みんなの森 Gifu Media Cosmos

市民から集まった「思い出の一枚」

岐阜の過去・現在・未来、そしてそこに暮らす人の情報を集積するシンボルエリアとして開設される「シビックプライドブレイス」。2022年3月の開設に向けて収集している様々な岐阜の情報のうち、明治期からのまちの記録として、市民の皆さんから写真を募集しました。ひとりひとりの思い出が詰まった貴重な写真がたくさん届いたほか、写真館や老舗の旅館、和菓子屋さんなどからもご提供いただきました。その一部をご紹介します！



ゴンドラに乗る楽しそうな写真、 躍進日本大博覧会って知ってますか？ 後ろの山はもしかし... 戦地への出征を見送った時の写真でしょうか...

シビックプライドブレイスでは、こういった写真や岐阜の古い地図をモニター上で誰もが自由に見られる予定です。岐阜のまちの成り立ちや当時の人々の生活を、感覚的に共有できる。そんなエリア整備を目指しています！

路面電車がド派手！いつ頃の写真でしょうか。

【みんなの森 ぎふメディアコスモス】
〒500-8076 岐阜市司町40-5
TEL.058-265-4101 <https://g-medicosmos.jp/>
季刊「メディコス文化道 VOL.02 (2021年10月発行)」
発行 / みんなの森 ぎふメディアコスモス
編集・デザイン / さかちブックス (株式会社トルクリエティブセンター)

開館から6周年、たくさんの方が関わってきたみんなの森 ぎふメディアコスモス。そんな「みんな」のうちの何人かをご紹介します。

わたしのシビックプライド

ホール・スタジオ・ギャラリー、楽しく使って

加納城址公園で遊んだり、つり込み祭りでもみくちゃにされたり、思い出がたくさんです。

【ぎふメディアコスモス事業課】 高橋 満さん

川原町周辺のジョギングは気持ちいいです。司書みんなとムーンマラソン出場が目標です。

【岐阜市立図書館司書】 曾我部 志保さん

調べもの相談窓口を活用ください！

つくるスタジオで色々つくってね

長良川右岸堤防から望む雄大な景色が好きです。天気の良い日は、遠くの山々まで見渡せる絶景スポットです。

【市民活動交流センター】 多田 朱美さん

まちと自然、古いものと新しいもの、いろんな文化が交わり、尊重される場所に岐阜市の豊かさを感じます。

岐阜の魅力に気付かせてくれる柳ヶ瀬商店街。歩けば歩くほど、このまちに住んでよかったと感じます。

音響・映像機械のことならお任せください

【運営サポートスタッフ】 桑原 慎也さん

メディコスとまちのこと、お伝えします！

【メディコス文化道編集部】 杉田 映理子さん

取材で出会った「まちの人」

メディコス編集講座受講生の声をお届けします！

VOICE 02 後藤麻衣子さん

メディコスの企画は子ども向けでも、大人向けでも切り口がおもしろいので、積極的に参加しています！今回の編集講座ではこれまで自分が直観的に捉えていた編集を、ロジカルに学び直している感覚があります。

VOICE 01 中神晋吾さん

コロナ前はよく子ども2人を連れて家族で図書館に通ってました。岐阜市役所に勤めているので、庁舎が移転してからよりメディコスが身近になり、最近市役所とメディコスの一体感ができてきていると感じています。

VOICE 04 田代達生さん

以前から「編集」が地域活性の切り札だという実感はあり編集講座には高いモチベーションで臨んでいます。期待以上の満足度で、岐阜で市民の手の届くところにこうした機会があるのは贅沢なことだと思います。

VOICE 03 藤井美沙さん

2週間に1度、定期的に図書館に通っています。近所にこうした施設があるのは嬉しいですね。編集講座は広報で知り、大学で学んでいるまちづくりの分野について、もっと学んでみたいと思い参加しました！

NEWS 02 岐阜の地で楽しく豊かに暮らす

ヒントが詰まったライブラリー

2020年7月に岐阜市立中央図書館に登場した「シビックプライドライブラリー」はユニークな可動式本棚で、「岐阜の地で楽しく豊かに暮らす」ヒントが詰まった本が独自のテーマごとに並びます。中には漫画や雑誌、古書など図書

館としては珍しい本も。通常、図書館では決まったルールで書籍が配架されており、本棚に意味を持たせることはありません。しかし、ここではジャンルを横断して本を並べること、本棚全体がメディアとしての力をもち、訪れる人の思考を喚起するのです。

シビックプライドライブラリーはこの場で完結するものではなく、ここでの本との出会いが市民のアイデアを触

発し、暮らしを楽しむ行動を起こすきっかけにしてほしいという思いが込められています。これまで、一方的に情報を発信する場であった図書館が、様々な人々と相互的に関わり合うことで、集まる情報の厚みが増すことが期待できます。そして、ゆくゆくは市民とともに本棚をつくっていく。シビックプライドライブラリーはそんなシビックプライドの循環を目指しています。

NEWS 01 岐阜のまちを編集する

エディターを講座で育成

岐阜市の編集拠点となる「シビックプライドブレイス」を整備し、シビックプライドセンターとしてこれから大きな役割を担っていくメディコスでは、2021年8月からの半年間で、岐阜を編み、岐阜を集める「メディア」とした全6回の「メディコス編集講座」を開講。岐阜市で積み重ねられてきた歴史や風土、文化、自然、人、記憶や記録などを編集し、さまざまなイベントの企画や情報発信などの活動に生かすエディター（編集者の育成を目指しています。講師は長年、編集工学の研究、実践に携わってきた「編集工学機動隊GEAR」代表

で、慶應義塾大学講師の太田剛さん。編集のプロがときにロジカルに、ときに実践的に、編集の知識やコツ、ノウハウをレクチャーします。1期生となる受講生は定員の倍以上の応募者から抽選で選ばれた25名。現役ライターや元新聞記者、大学生、主婦、市役所職員など、バラエティに富んだメンバーが、講義を真剣に聴講し、多様なワークショップやお題に果敢に挑んでいます。

第1回の8月14日は講師の太田さんがオンラインで参加、第2回の9月12日は完全オンラインでの講座となりました。がいずれも高いモチベーションを持って参加する受講生の姿が印象的でした。今後、フィールドワークなどの実践を通じて、より編集への理解を深めていくみなさん。修了後の活躍が大いに期待されます。



MEDICOS NEWS



岐阜の文化地図

CULTURAL MAP

02

THEME

本と映画

cosmos of imagination

岐阜のまちには幾つもの文化が、地層のように積み重なり、混じり合い、深みと広がりをもって蓄積されている。文化とは歴史であり、発見や出会いであり、忘れられない記憶や記録であり、人々の暮らしの中から生まれて、ゆるやかに繋がっていくものだ。地図を片手にこのまちの文化を辿っていけば、そこに“文化道”があらわれる。今回は“想像力の宇宙”を抱く「本と映画」から、文化の道を繋いでみよう。

01 絵本・童話・おとこ おおきな木

岐阜市内で唯一の児童書専門店として1994年にオープンした「おおきな木」。店内には新刊からロングセラーまで数多の絵本をはじめ、児童文学、図鑑、保育書などが約1万冊も並び、木のおもちゃを中心とした知育玩具もそろそろ。店主の杉山三四郎さんは「本やことば、自然を通して大人と子どもを繋ぐ場を作りたい」と、開店当初から単なる書店の枠を超えて、親子でふれあい遊びや音楽、工作などを楽しむ「ことば塾」や、自然の中で子どもたちが思い思いに野外遊びやキャンプを楽しむ「野外塾」も行ってきた。そう、ここは子どもたちが、自由に本やことばや自然と出会い、好奇心や想像力を培うことができる秘密基地でもあるのだ。



[DATA]
岐阜市伊奈波通3-11
10:00~18:00 火曜定休
TEL.058-264-2393
<https://www.ehon-ookinaki.com/>

杉山さんの「絵本ライブ」CDも販売中



[どんな本がよいか迷ったときは気軽に相談を]

店主 / 杉山三四郎さん

インターネットの普及やスマホの登場で、出版界を取り巻く環境は大きく変化しましたが、それでも絵本には、大人と子どもと一緒にページをめくり、ふれあうことができる紙媒体ならではの良さがあり、今後もなくなってしまうことはないと思います。これからも市内唯一の児童書専門店として、本選びのお手伝いなどでお役に立てれば嬉しいです。

HOW TO USE

CULTURAL MAP

岐阜のまちにはどんな文化が蓄積されているのだろうか。地図を片手にまちを歩きながら新しい発見を書き込んで自分だけの文化地図をつくろう。

COLUMN

一柳ヶ瀬と映画館一

柳ヶ瀬は、かつて数十館もの映画館が立ち並び興行街として賑わいました。現在の岐阜タカシマヤが建つ辺りが今も“劇場通”と呼ばれるのは、その名残です。東海地方最大の1300席を誇った「岐阜劇場」は岐阜タカシマヤの建設に伴い閉館しましたが、芝居小屋から始まったという映画館「青雲館」が建っていた場所が代替地とされ、そこに1978年に建設されたロイヤルビルに「ロイヤル劇場」がオープンしました。そんな柳ヶ瀬にあった映画館の思い出を文化地図に重ねてみるのも面白いですね。



02 徒然舎

美殿町商店街にある青いタイルが印象的なビルの1階。ガラス張りで見学しやすい雰囲気の本屋「徒然舎」の棚には、絵本や暮らしの本、人文学、アート系に学術書、専門書、さらに郷土史料や漫画まで、幅広いジャンルの本がぎっしりと並んでいる。幼い子どもを連れてきた母親や学生、常連の年配客。訪れる客はさまざまだが、誰もが一緒にめくるめく本との出逢いを心ゆくまで楽しんでいる。2009年にオンライン書店として開業し、2011年に実店舗をオープンして10年が経つ今、古本屋を始めたい人を対象とした全8回の「古本屋講座」も開く。岐阜でこんな“まちの古本屋”が扉を開き続けていることは、どれほど豊かなことだろう。



[DATA]
岐阜市美殿町40 矢沢ビル1F
12:00~19:00 火曜・水曜定休
TEL.058-214-7243
<https://tsurezuresha.net/>

モットーは「お客様に誠実・本に誠実」



[少しずつ、まちの風景を変える存在に]

店主 / 深谷由布さん

今では岐阜市内で店を構える古本屋はわずか2軒になり、“まちの古本屋”としての責任の重大さを感じています。本を売るだけでなく、買うことも古本屋の大切な仕事です。岐阜のまちの人の“本の循環”を支える役割を担いたいという思いで店を続けてきたこの10年で、少しずつ美殿町やまちの風景を楽しみ変える存在になれたのかなと思います。

03 ロイヤル劇場

映画館がひしめき合い賑わっていた柳ヶ瀬で、1978年に華々しく開館した「ロイヤル劇場」。しかし、やがて郊外にシネマコンプレックスが台頭し、映画のデジタル化の波に直面する。生き残りを模索する中、2009年に懐かしい昭和名作映画の上映会を企画。「当初は試しに2カ月ほど上映してみる予定だったんですが、これがうけて、東京や大阪、名古屋からもファンが駆けつけたんです」と当時総支配人を務めていた磯谷貴彦さん。活路を見出し、以来12年間、毎日映写機をメンテナンスして、フィルムでの上映を続けてきた。往年のスター俳優らの手書き看板をくぐり、エレベーターで4階に降り立つと、往時と変わらず愛しき名画座が現れる。



[DATA]
岐阜市日ノ出町1-20
10:00~18:00
TEL.058-264-7151 (CINEX)
<http://www.tochiko.co.jp/royal.html>

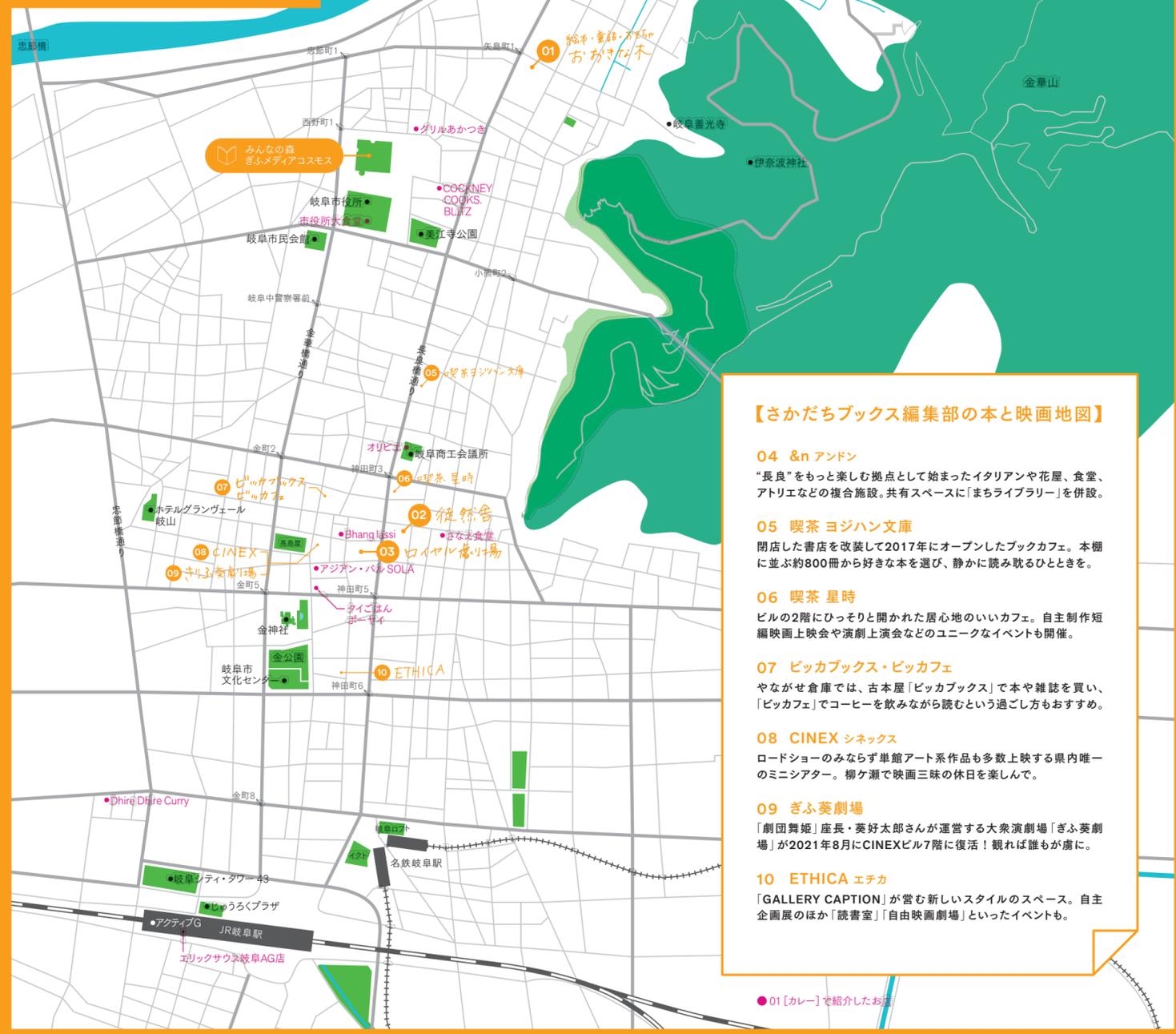
料金は一律600円(入れ替えなし)



[柳ヶ瀬には映画文化が深く根付いてきた]

岐阜土地興業株式会社取締役 / 磯谷貴彦さん

かつては伊奈波神社の辺りに多くの芝居小屋が建ち、それが南下して柳ヶ瀬に芝居小屋ができ、活動写真が上映され、映画館になっていったのだそうです。そうした映画文化が深く根付いてきた柳ヶ瀬という場所だからこそ、商店街にあるレトロな映画館でアナログなフィルム映画を上映するこのロイヤル劇場が生き残ってこられたのだと思います。



【さかだちブックス編集部の本と映画地図】

- 04 &n アンドン**
“長良”をもっと楽しむ拠点として始まったイタリアンや花屋、食堂、アトリエなどの複合施設。共有スペースに「まちライブラリー」を併設。
- 05 喫茶 ヨジハン文庫**
閉店した書店を改装して2017年にオープンしたブックカフェ。本棚に並ぶ約800冊から好きな本を選び、静かに読み耽るひとときを。
- 06 喫茶 星時**
ビルの2階にひっそりと開かれた居心地のいいカフェ。自主制作短編映画上映会や演劇上演会などのユニークなイベントも開催。
- 07 ビックブックス・ピッカフェ**
やながせ倉庫では、古本屋「ビックブックス」で本や雑誌を買い、「ピッカフェ」でコーヒーを飲みながら読むという過ごし方もおすすめ。
- 08 CINEX シネックス**
ロードショーのみならず単館アート系作品も多数上映する県内唯一のミニシアター。柳ヶ瀬で映画三昧の休日を楽しんで。
- 09 ぎふ葵劇場**
「劇団舞姫」座長・葵好太郎さんが運営する大衆演劇場「ぎふ葵劇場」が2021年8月にCINEXビル7階に復活！観れば誰もが虜に。
- 10 ETHICA エチカ**
「GALLERY CAPTION」が営む新しいスタイルのスペース。自主企画展のほか「読書室」「自由映画劇場」といったイベントも。

●01 [カー]で紹介したお店